

東通ライオンズクラブ活動お知らせ



報告する川端会長㊟と畑中村長㊟

去る5月11日、東通ライオンズクラブ会長の川端孝悦氏が来庁され、日本ユネスコ協会連盟より感謝状が授与されたことを畑中稔朗村長に報告されました。書き損じのハガキや未使用切手を募金に替え、ユネスコ世界寺子屋運動活動への協力が認められました。

今後とも、平和な社会づくりに貢献できる活動が続けていきたいとのことでした。

(持続可能な開発目標：SDGs)
えすでいじーず

東通ライオンズクラブのアクティビティ本事業にご賛同ご協力を頂ける方は、左記までご連絡お問合せ下さい。

◆東通ライオンズクラブ事務局保田日専連むつ会(むつ市保田まで)
☎・FAX 0175(22)0389

東通原子力発電所東北電力1号機 安全対策工事の完了時期 3年繰り延べ



東北電力からの説明

4月28日、東北電力から村長に対し、東通原子力発電所東北電力1号機における安全対策工事の完了時期の見直しについて説明がありました。

東北電力は、東北電力1号機の再稼働のため、平成26年6月に、原子力規制委員会に対して、新規制基準適合性に係る審査の申請を行い、現在、同委員会において、地震・津波に係る審査が進められています。

また、東北電力は、審査と並行して、新規制基準を満たすための安全対策工事を進めています。

一方で、この安全対策工事は、審査の過程で得られた知見や評価を反映しながら進めていく必要がある

あります。

東北電力より、この安全対策工事について、令和3年度(2021年度)の完了を目指すとしてきましたが、審査の終了に、さらに一定の期間を要するため、先行する女川原子力発電所2号機(宮城県女川町)の審査実績などを参考として、改めて評価した結果、現在の工事完了の時期を3年延長し、令和6年度(2024年度)の工事完了を目指すこととしたとの説明がありました。

村長から東北電力に対し、村民は、東北電力1号機の早期の再稼働に大きな期待をしていること、過去最長となる3年の繰り延べであり、非常に重く受け止める必要があることなどを申し述べるとともに、この3年の繰り延べによる、村経済や財政への影響を評価すること、村民に対し、丁寧に分かりやすい説明を行うことなどを求めました。

村では、原子力との共生を目指す「東通モデル」の推進へ向けて、早期の再稼働の実現のため、国、県、事業者との対話を深め、村議会との連携をもって、幅広い要望活動を展開して行くこととしています。